

熟語は文脈の中で正しく使うことができなければなりません。文脈を把握して、正確な熟語を用い、正しく書きましょう。

やってみよう

次の、と同じ組み立ての熟語を、あとのアからエの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で書きなさい。

- 成功 ア 優秀 イ 読書 ウ 軽重 エ 自作
- 優劣 ア 傾斜 イ 人造 ウ 応答 エ 増減



二 次の、の——線部のカタカナを文の意味が分かるように漢字に直して、四字熟語を完成させなさい。

物語のキシヨウ転結を考える。

彼の態度はいつも公明セイダイだ。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

太郎は、学級対この駅伝大会の選手に立候補した。今までに出場したこともない、どちらかといえば、走ることが苦手な彼の立候補である。何人かの同級生は、あからさまに嫌な顔をしたが、彼の意志は固かった。

それから彼は、毎日、(一心□□)に練習を重ねた。そして、どんどん速くなっていった。最初は嫌な顔をしていた同級生たちも、練習開始から二週間が過ぎるころには、彼の挑戦を応援するようになっていった。彼の思いを、無言のうちに感じ取ったのである。

そして、大会当日がやってきた。何度か(絶体□命)のピンチになったが、太郎のクラスは、(□□我夢中)でたすきをつなぎ、優勝することができた。

次の日、クラスメートは、太郎が駅伝大会を最後に転校することを知らされたのである。

1 文中の〳〵線部と組み立てが同じ熟語を、あとのア、エの中からそれぞれ一つずつ選んで記号で書きなさい。

- ア 永遠
- イ 近々
- ウ 作文
- エ 親友
- ア 立候補
- イ 無責任
- ウ 有意義
- エ 具体的
- ア 衣食住
- イ 具体的

2 文中の〳〵線部「あからさま」と同じ意味の熟語を、次のアからエの中から一つ選んで、記号で書きなさい。

- ア 意外
- イ 乱暴
- ウ 急激
- エ 露骨

3 文中の□にあてはまる四字熟語を次の□をうめて完成させなさい。

一心

4 文中の——線部の意味をもつ四字熟語を、あとのアからエの中から一つ選んで、記号で書きなさい。

- ア 異口同音
- イ 以心伝心
- ウ 完全無欠
- エ 付和雷同

5 文中の、に漢字一字をあてはめて、四字熟語を完成させなさい。

- 絶体 命
- 我夢中

